



キーワード かまくらばくふ
鎌倉幕府

4

みなもとよりとも
源 頼朝が鎌倉（今の神奈川県）ではじめた武士の政権です。頼朝は1185年に平家を滅ぼし、同じ年に守護・地頭を全国に接地し朝廷に認められました。1192年には頼朝は「征夷大將軍」に任命されました。

※以前は1192年を鎌倉幕府の成立としていましたが、今は1185年を鎌倉幕府成立の年としています。

キーワード しゅご じとう
守護・地頭

5

「守護」…国単位で1人ずつ任命された軍事指揮官・行政官のことです。

国を守るために今でいう警察のような仕事をしていました。

「地頭」…各荘園・公領に設置され、年貢を徴収する仕事をしていました。

地頭は武士であったため、争いごとを暴力的に解決しようとする事が多く農民から恐れられていました。このようなことから「泣く子と地頭には勝てぬ」ということわざもあるほどです。

キーワード ごおん ほうこう
御恩と奉公

6

「御恩」…将軍に仕える武士を「御家人」と呼び、将軍は御家人の領地を認めて保護し、功績があった場合は新しい領地を与えたりしました。

「奉公」…御恩を受けた御家人は、将軍に忠誠を誓い、戦いの時には一族を率いて将軍のために戦いました。

このような土地を仲立ちにした主従関係を「封建制度」といいます。

キーワード しっけんせいじ
執権政治

7

北条氏が「執権」として、鎌倉幕府の実権をにぎって行った政治の事です。元々執権は鎌倉幕府で将軍を補佐し、政治を行う職でしたが、北条氏が代々受け継ぎ源氏の将軍が3代で絶えた後、京都から迎えた将軍に代わって幕府の政治を動かしていました。初代の執権は源頼朝の妻 政子の父親である北条義時でした。

コラム

テストにも出る!? 平家物語

平家物語

祇園精舎の鐘の聲、

諸行無常の響きあり。

沙羅双樹の花の色、

盛者必衰の理をあらはす。

おごれる人も久しからず、

ただ春の夜の夢のごとし。

猛き者もつひにはほろびぬ。

ひとへに風の前の塵に同じ。



平家物語の冒頭文を国語の授業で暗記した人も多いのではないのでしょうか？

平家物語は平氏と源氏の戦いをもとにした物語です。

日本を支配していた平家一族の栄えていた平安時代から、勢力が大きくなってきた源氏との戦いを経て、平氏が滅び鎌倉時代へと移行行く様子が描かれています。

作者は不明ですが、琵琶法師などによって語り継がれてきました。

有名な倶利伽羅峠の戦いや壇ノ浦の戦いなど源平合戦が主な内容ですが、妖怪退治などのエピソードなども含まれており、冒頭文の暗記だけではもったいない内容となっていますので、時間があるときに一度全部読んでみてはいかがでしょうか？